

9/18

革新

市大革新タロー三機関紙

No. 96

革新タロー三
書記局発行

平和共存!

安保破棄!

非武装中立!

921伊丹軍事使用反対 斗争に起て!

本日の代議員会

1021斗争会を確立せよ

9.21斗争で斗いの昂揚局面を『一斗い』の意義

佐藤内閣は昨秋の日米共同声明でアメリカのベトナム侵略に対する全面支持、北爆支持を高唱し、又、沖縄の核付き返還を目ざして、当面は本土との一体化政策を推進することを確認している。まさに、日米共同声明は70年アジア侵略、核安保にむけての行動綱領にほかならず、その後、エソコラの佐世保入港、B52の沖縄常駐を皮切りとして、実践に移している。又、明治百年への大々的取組みに象徴される如く、様々なイデオロギー攻撃を行い、国家主義、大國主義を吹き込み、国防意識の昂揚をはかっている。そして、国内においては、治安体制を強化し、人民を抑圧しながら、対外的にはアスバック、日韓密約会議と、一連の新植

民地主義外交を展開している。

今こそ我々は労働者本隊を中軸にした反戦平和勢力の圧倒的な隊列をもって安保強化をめざして反動的諸政策を進めている佐藤内閣に全面的に対決し、打倒せねばならない。9.21斗争は日米労働者の米軍タンク車輸送拒否斗争に呼応して総評傘下の労働者を中心に斗われる全日基地斗争であり、我々は大阪の労働者と連帯して伊丹空港軍事使用反対の斗いを展開する必要がある。この斗いを大衆的に斗い抜くことによって斗いの昂揚局面を切り開こう。そして、これまでの街頭での市民主義的運動を克服し、職場、学園、地域に根付いた運動へと質的に転換することによって、はじめて斗いの隊列を拡大再生産できるのである。各クラスは、クラス討論を基にした大衆的、持続的斗いをくりひろげよう。

本日の代議員会の任務

本日の代議員会の任務は、①緻密な秋の斗争方針の確立と、②その斗いをクラスを基とした全学的なものとする為の組織体制の確立である。

①に関しては、この秋の斗いは佐藤内閣打倒を中心環とするベトナム反戦、沖縄返還、安保破棄を通じて非武装中立、平和共存をめざす斗いである。そしてそれは9.21を突破口に10.8日自代→10.18学生大会→10.21日際反戦統一行動→10.23明治百年祭反対

集会等を通じて為されねばならない。とりわけ、10.21斗争は7月全自代、8月原水禁学生層会議においての意見統一に基き、全日の大学と連帯し、市大においては教養スト、専門の授業放棄という高度な斗いをつくりださねばならない。

②に関しては、現在、市大自治会の中軸機能がマヒし、全クラスの討論の集約の場がない段階で、代議員会決定による自治会正式機関としての斗争委員会を確立し、代議員はじめクラス選出の斗争委員を結集する必要がある。